

主催:北九州市

依存症と社会資源を考えるⅡ

～ギャンブル依存症からの回復と社会資源～

☆ギャンブル依存症とどのようにかわるか☆

最近、パチンコなど女性とギャンブルの問題が注目されたり、ギャンブルを原因とした借金、子どもの養育への影響など、ギャンブル依存症が社会的問題になっています

その一方、この問題は即効的な解決が難しく、多角的な取り組みが必要となります。

今回、医療機関でギャンブル問題に取り組む、やはた心身医療センター(八幡厚生病院)のソーシャルワーカーの坂口 享氏、ギャンブル依存症の当事者、多重債務問題の立場でギャンブル問題と関わる司法書士の濱田なぎさ氏、そしてアルコールやギャンブルの依存症からの回復支援施設MACのスタッフをお招きし、さまざまな角度からギャンブル依存症の問題を考える場としたいと思います。依存症と社会資源について一緒に考えてみませんか。

ふるってご参加ください。



☆日 時 平成24年3月28日(水)15:00～17:00

☆対 象 ギャンブル・アルコール・薬物依存症に関わる支援者、当事者、家族の方など(定員40名:先着順)

☆参加費 無料

☆会 場 北九州市立精神保健福祉センターセミナー室

小倉北区馬借一丁目7-1 北九州市総合保健福祉センター5階

☆申込み FAX か郵送で、平成24年3月27日(月)までに下記へ

(申込み記載は裏面にあります)

〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1-7-1

北九州市立精神保健福祉センター 担当:中村・田村

電話093-522-8729 FAX093-522-8776

《ギャンブル依存症とは》

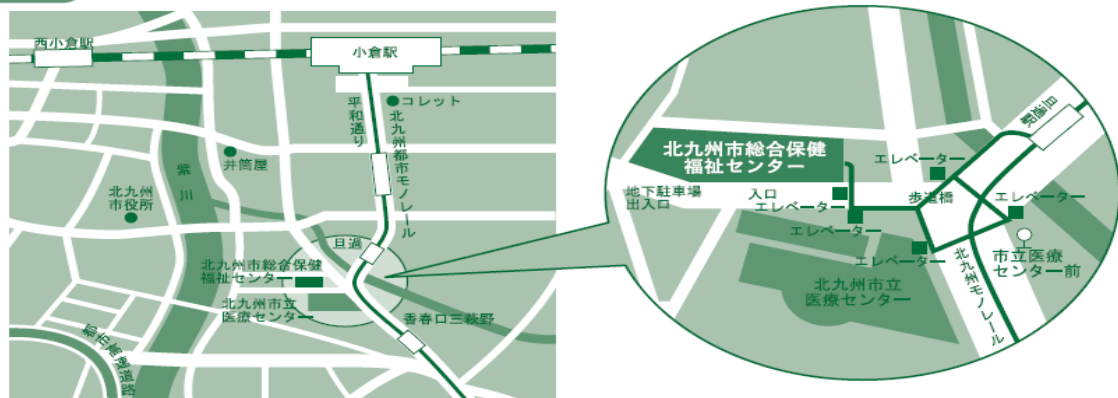
ギャンブルの問題をひとつの病気とみなす考え方です。「病的賭博」とも言います。

刺激や興奮を求めて、ギャンブル(パチンコ、競馬など)を繰り返し、自分でコントロールできなくなる状態を言います。なお、「賭博」とはお金をかけて勝負することを言います。

近年、ギャンブル依存症は、成人男性だけでなく、女性や若者にも問題が広がっていると言われています。

《北九州市立精神保健福祉センター 案内図》

会 場 北九州市総合保健福祉センター「アシスト 21」 5階 (北九州市小倉北区馬借 1-7-1)



交通のご案内

- JR「小倉」駅より徒歩15分
 - 西鉄バス「市立医療センター前」バス停より徒歩1分
 - モノレール「旦過」駅から、歩道橋で総合保健福祉センター2Fに直結
- ※総合保健福祉センターの地下駐車場のご利用はご遠慮下さい。

《3月28日セミナー参加申込用紙》

お名前 _____ (当事者・家族・支援者) → 該当するものに○

ご住所 〒 _____

所属 _____

連絡先(電話等) _____